



英光ライティング株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年2月1日～ 2024 年1月31日) 【当社期初:2月】



目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の環境経営計画	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11



環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、照明器具の設計・開発・製造・販売等の事業活動を行っています。地球温暖化や産業廃棄物の増加、資源エネルギーの枯渇などの環境問題は、当社でも最重要経営課題の一つであると認識し、とくに環境にも人にもやさしい製品づくりに努めています。また、さまざまな環境負荷低減活動にも日々取り組んでいます。限りある資源を大切にしながら持続可能な社会の形成・維持をするために、従業員一人ひとりが、今できること、これからできることを常に考えて、活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃材を減らすべく再生利用に努めています。
4. 節水に努め、水資源の使用量を削減に取り組んでいます。
5. 環境に配慮した製品の開発、製造に取り組んでいます。
6. この環境経営方針は、全従業員に周知します。この情報は外部からの求めに応じて公開します。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。



制定日：2020年6月30日

代表取締役社長 染谷英太郎

□組織の概要

更新日：2024年3月12日

(1) 名称及び代表者名

英光ライティング株式会社
代表取締役社長 染谷 英太郎

(2) 所在地

本社 大阪府大阪市城東区新喜多東2丁目5-14

(3) 管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 糸井 章雄 専務取締役工場長 TEL：06-6967-0080
推進担当者 磯井 伸行 総務経理統括

(4) 事業内容

照明器具の設計・開発・製造・販売

(5) 事業の規模

売上高	16000 万円	
	本社	合計
従業員	12 名	12名
延べ床面積	1,962 m ²	1,962m ²

(6) 事業年度

2月1日～1月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：英光ライティング株式会社
対象事業所：本社
活動：照明器具の設計・開発・製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介

弊社は1955年(昭和30年)より、メーカー製OEM生産を中心に照明器具全般の設計・製造及び販売に加え、その他の板金工作物の注文製作を、一貫した国内内製主義にこだわりながら行ってきました。



当社取扱製品：殺菌灯 GBS-1

近年では、ライトアップ照明、店舗用照明や医療用照明、殺菌灯(GBS-1公共建築用型番)、電源デバイスの開発などを手掛けてきました。

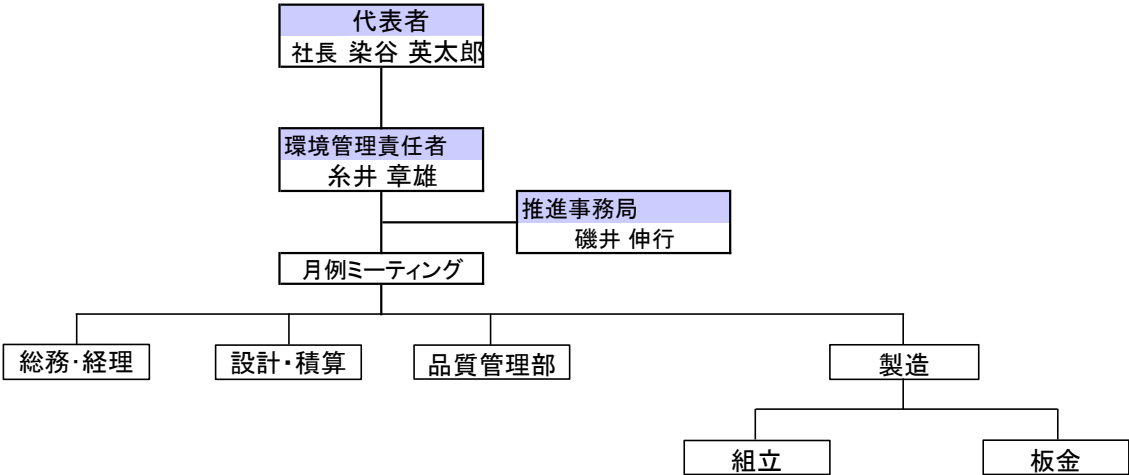
その中でもとくに、現在コロナ禍ということもあり、弊社が26年前より7万台以上製造し続けてきた実績と技術の蓄積が



弊社新製品：15W20W兼用

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2024年3月12日



見直し

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
推進事務局	・管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
代表者 (月例ミーティング)	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位		2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		45,962	46,798
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg		576	438
産業廃棄物排出量 (有価物)	kg		12,737	8,570
水使用量	m ³		115	82

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh (関西電力のH29実績調整後係数)

※二酸化炭素排出量には下記環境経営目標以外に灯油使用量分を加えています。

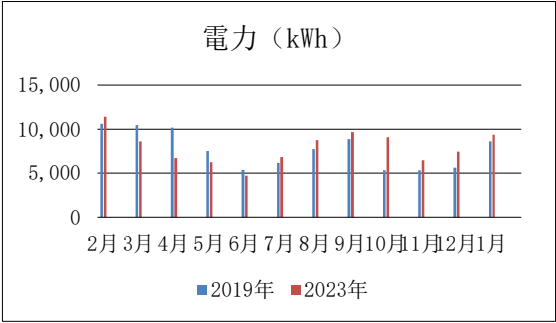
□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			上段:	通期			
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	38,936	38,547	39,875	×	37,378	36,989
	基準年度比	2019年	99%	102%		96%	95%
	原単位 kWh/千円	0.723	0.715	0.795	×	0.694	0.687
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	8,348	8,181	5,012	○	8,097	8,014
	基準年度比	2019年	98%	60%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	47,283	46,727	44,887	○	45,476	45,003
一般廃棄物の削減	kg	600	558	438	○	558	540
	基準年度比	2019年	93%	73%		93%	90%
水道水の削減	m ³	195	185	82	○	179	176
	基準年度比	2019年	95%	42%		92%	90%
環境に配慮した生産活動 (収集・破棄)	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

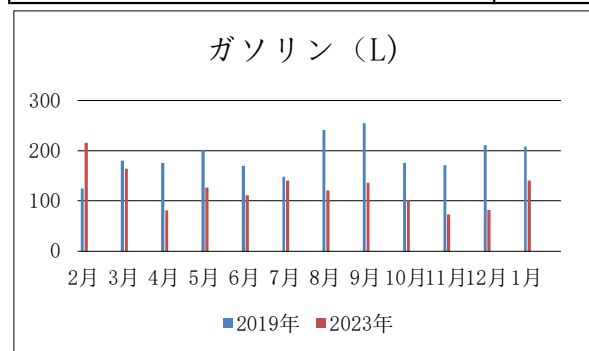
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	概ね順調に推移していましたが、最後の3ヶ月の増によって、遺憾ながら未達となりました。従業員全員で話し合っ、今後適切な方法を検討する必要があると考えています。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・定時退社の実施(毎週金曜日)	△	
・生産工程の待機時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



取組紹介欄

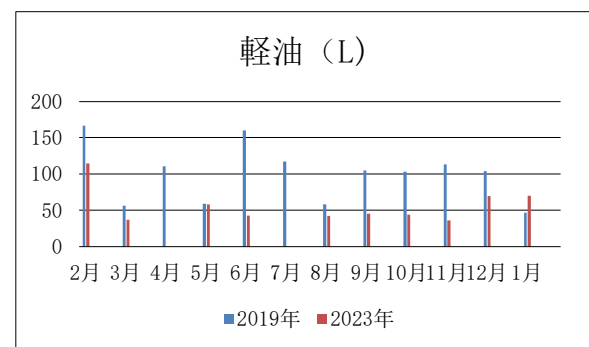
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	10,616	10,447	10,169	7,551	5,399	6,183	7,737	8,865	5,331	5,331	5,626	8,618
2023年	11,397	8,644	6,746	6,271	4,734	6,828	8,746	9,657	9,074	6,482	7,451	9,364

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	アシスト機能付き自転車をより有効活用する等で、今期は実績ベースで累計では達成することができた。今後も取組みを継続していきたいと思います。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	△	
・自転車や公共機関の利用	○	



取組紹介欄

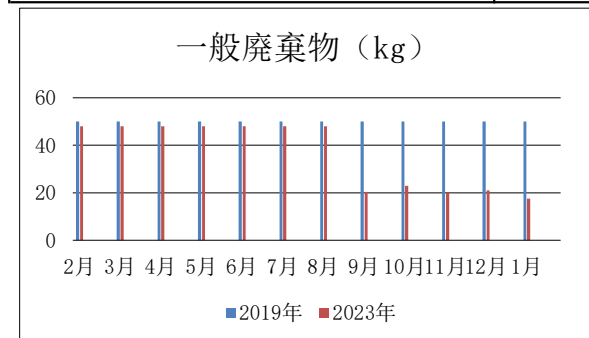
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	125	180	176	202	170	148	242	255	176	172	211	208
2023年	216	164	81	127	111	141	121	136	102	73	82	140



取組紹介欄

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	167	57	110	59	160	117	58	105	103	113	104	47
2023年	115	37	0	58	43	0	42	45	44	36	69	70

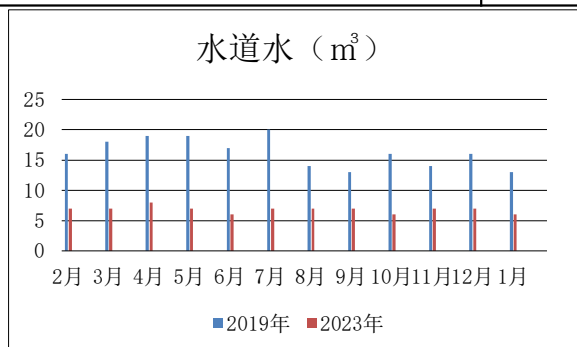
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	一般廃棄物の見える化を図れたので、継続実施することを決めた。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2023年	48	48	48	48	48	48	48	20	23	20	21	18

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今年度は建屋改築を実施したことにより、水道関連での節水対策により、前期と比較して大幅な改善を実現することができた。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・自動水栓取り付け	○	



取組紹介欄

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	16	18	19	19	17	20	14	13	16	14	16	13
2023年	7	7	8	7	6	7	7	7	6	7	7	6

環境に配慮した生産活動（収集・破棄）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率削減	○	稼働率向上にむけて施策を検討し、低減に取り組んでいます。
・稼働率向上	○	

取組紹介欄

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・殺菌灯派生型の新製品の拡販	△	新製品の実売になり、順調に推移しており、来期の売上伸長に向けた布石は打てた。

取組紹介欄

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）、一般廃棄物
騒音規制法	工作機械
振動規制法	工作機械
消防法	消火器点検
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

取組期間中に苦情等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：火災の発生

■実施日：2023年6月3日

■実施場所 本社

■参加者：全従業員

■実施内容：

☒通報訓練
 ☒消火訓練
 ☒避難訓練

■評価：

手順書の変更の必要性

☐あり
 ☒なし

■実施状況の様子

全員素早く安全に行動が出来ていた。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年3月11日

【前回の指示への取組結果】 電力・ガス・水道といったライフラインにつながる低減に継続して力を入れている点を評価する。		
＜情 報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) 一般廃棄物など、使用材料に係る資材等へも重点を置くようにする。		◇環境方針 地球温暖化が地球環境に多大な悪影響を与えている現実を十分認識し、普段の事業活動において、環境に対する配慮を実践する。
◇環境経営目標・計画の達成状況 一定数の目標の達成が見られる。		◇環境経営目標・環境経営計画 端材など鉄材の削減、梱包材の再利用を徹底すること。
◇その他 現在のところ特にありません。		◇実施体制他 全社的取組としているが、目標達成を目指す段階において環境問題への意識を高めるため、教育訓練や啓蒙活動等を実施し、周知徹底する。
エコアクション21認証取得後、2年目の取り組みとなり、初年度来の経験値を踏まえ、全従業員で意識的に取り組めていたと思う。弊社では3S活動(整理・整頓・清掃)の定着により、環境活動マインドは浸透しているの、継続的なエコアクション21の活動を通してより生産的な経営活動につなげていけるよう進めていきたい。 尚、新しい推進事務局メンバーは、今後の中間・更新審査等での受審プロセスを記録・共有することで、エコアクション21の事務フローを効率化し、次回受審をスムーズに実施できるように備えておくこと。		

- 環境経営方針
- 環境経営目標・計画
- 実施体制他
- ☒ 変更なし
- ☒ 変更なし
- ☒ 変更なし
- ☐ 変更あり
- ☐ 変更あり
- ☐ 変更あり
- 実績を踏まえて見直すこと

□これまでの環境活動の紹介

1階食堂(下左)と2階事務所(下右)に掲示板を設置した。環境経営方針をはじめ、エコ活動に役立つ情報なども掲示している。



□編集後記

2023年度の活動を振り返ると、水道水が数値目標を達成するも、電力が厳冬の影響を受けて最終的に未達成とはなりましたが、総じて環境活動を実施できたかと思います。EA21の取組みは継続することが肝要かと考えており、負荷記録表を都度記録して、四半期毎の評価を確実に実施することで、より積極的な環境負荷低減活動に繋げていきたいと思っています。
(エコ21推進事務局 磯井)